

指定管理者評価表（外部評価シート）

1. 基本事項		評価対象期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日		
施設の概要		指定管理の状況			
名称	可児市市民公益活動センター	指定管理者	名称	特定非営利活動法人 可児市NPO協会	
所在地	可児市下恵土5166番地1		所在地	可児市広見一丁目5番地	
設置目的	市民が自主的に行う社会に貢献する活動で、営利を目的としないもの(以下「市民公益活動」という。)を支援するとともに、市民公益活動をする者の交流の場として、可児市市民公益活動センターを設置する。(可児市市民公益活動センターの設置及び管理に関する条例第2条より)	指定管理期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日 (3期目)		
		選定種別	公募	非公募	利用料金制
供用開始年月	平成14年10月	業務内容	1. 市長が提示する市民公益活動を支援する業務 2. 可児市市民公益活動センターの使用の許可に関する業務 3. 可児市市民公益活動センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 4. 前3点に掲げるもののほか、可児市市民公益活動センターの運営に関する事務のうち、市長の権限に属するものを除く事務		
施設所管部署	市民部地域振興課				

2. 施設の運営状況

① 利用状況

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開館日数	356 日	353 日	347 日	346 日
施設利用者数	6,640 人	6,214 人	5,343 人	3,762 人
施設稼働率	87.0 %	92.0 %	88.0 %	71.0 %

② 自主事業実施状況

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開催回数	42 回	41 回	17 回	8 回
参加人数	3,800 人	5,500 人	1,072 人	525 人

③ 主な自主事業の内容

実施年度	事業の名称等	参加人数
平成28年度	子育て応援フェスタ	3,000 人
平成28年度	子育て応援癒しフェスタ	300 人
平成29年度	子育て応援フェスタ (NPOフェスタと同時開催)	5,000 人
平成29年度	キャリスタ	20 人
平成30年度	オレンジリボンたすきリレー	100 人
令和元年度	オレンジリボンたすきリレー	100 人
		人

4. 評価結果

3. 収支状況

① 収入

単位：円

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理料	8,100,000	8,100,000	8,100,000	8,175,000
利用料収入	869,791	654,377	556,241	441,844
自主事業収入	0	0	0	0
その他	21	5,136		
収入計 A	8,969,812	8,759,513	8,656,241	8,616,844

② 支出

単位：円

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人件費	5,864,944	5,980,552	5,002,550	5,042,298
管理費	1,689,486	1,858,321	1,929,031	2,263,300
事業費	924,399	785,129	511,580	686,482
事務費	0	0	0	0
公租公課	0	0	0	0
その他				
支出計 B	8,478,829	8,624,002	7,443,161	7,992,080
収支 A-B	490,983	135,511	1,213,080	624,764

区分	評価項目	評価内容	一次評価（施設所管課）		二次評価（選定評価委員会）	
			評価理由等	評価	評価理由等	評価
業務の履行	事業計画書及び協定書に掲げる業務の実施状況	事業計画書や協定書に掲げる業務が確実に実行されているか	適切に実施されている。	B	適切に業務が遂行されている。利用者数が減少してはいるが、マーンとの分散であることは理解できた。今後も、適切なニーズに対応していくことができると期待している。スタッフの働き方について考慮し、人数の確保や資質の向上を目指していただきたい。	B
	人員配置及び職員研修の状況	必要な人員が確保され、職員研修も実施されているか	適切に実施されている。	B		
	文書・帳簿の管理保存状況	管理業務に関する文書・帳簿は適切に整理保管されているか	事務所内に適切に実施されている。	B		
	施設設備・備品の保守管理の実施状況	管理施設の設備・備品の保守管理状況は適切か	適切に管理されている。	B		
	緊急時の対応方法	緊急時の対応マニュアルや事後の対応への備えができていないか	危機管理マニュアル等が適切に整備されている。	B		
	利用者の推移	利用者が特別な事情がないにもかかわらず前年度に比べ減少していないか	前年度と比較すると減少している。	C		
サービスの水準	サービス向上及び経営改善に関する独自の取り組み	サービス向上等に向けた独自の取り組みは実施されているか	他団体と協力してイベントを企画実行することで、NPOセンターの周知を図る等、工夫した取り組みを行っている。	A	適切なサービスが提供されている。相談業務の拡充など、新たなサービスの開拓を行うとともに、現行のサービスの見直しも図りたい。また、他団体との協力体制は、今後も進めていただきたい。	A
	利用者満足度調査における施設満足度	利用者の施設満足度は高いか	施設に対する苦情等はなく、施設満足度がうかがえる。	B		
	PR・情報提供の実施状況	様々な方法により、積極的なPRや情報提供が行われているか	ホームページ、広報紙等による情報提供を行っている。	B		
	苦情処理の状況	苦情に関する帳簿が作成され、内容は職員に周知され、適切な対応がなされているか	特に苦情は見られないが、要望に対してはできる範囲で対応している。	B		
収支状況	指定管理経費の経理事務の状況	指定管理費に関する経理事務は適正に行われているか	適切に行われている。	B	一部不明確な経理処理は見られたものの、現在は適切に行われている。	B
	指定管理者施設の財務状況	指定管理者施設の財務状況は適正か	適正である。	B		
総合評価			市民にNPOセンターの事業をいかに知ってもらうかについて、様々な取り組みを行っている。また、業務の履行についても適切な管理運営を行っている」と評価できる。	B	「所見」欄に記載	B

所見	<p>全体的な業務について、理事長自らが積極的に履行している様子から、概ね適切な業務ができていると評価できる。今後は、コロナウイルス対策についての助言活動なども期待したい。賃金が若干安いとも思われるが、NPO法人としての特色を生かし、これからの時代の変化に対応できるサービスを提供するとともに、市民に対し、NPOセンターの事業内容があまり知られていないので、広報活動を充実していただきたい。</p>
----	---

5. 参考（評価基準）

① 区分別評価基準

◆業務の履行

評価	内 容
A	適切に実施されており、より効果的に業務が実施されている
B	適切に実施されており、特に改善等を要する事項はない
C	おおむね適切に実施されているが、その一部に改善を必要とする事項が見受けられる
D	要求事項が実施されていないか、実施されていても適切ではないため大幅な改善が必要である

◆サービスの水準

評価	内 容
A	サービス水準の向上が認められ、独自の工夫も多く見受けられる
B	サービス水準はおおむね維持されている
C	サービス水準の一部に低下が見られ、サービス向上の努力が必要である
D	サービス水準が低下していると認められるため、サービス向上に向けた大幅な改善が必要である

◆収支状況

評価	内 容
A	収支は計画に比べ向上が見られる。財務状況も良好である
B	収支はおおむね計画どおりと認められる。財務状況は良好である
C	収支のいずれか、又は両方が計画を達成していない。財務状況は良好である
D	収支のいずれも計画を達成していない。財務状況も良好とはいえない

② 総合評価基準（評価指標の①②のいずれかの基準を採用し、評価を決定する）

評価	内 容
A	① 全ての評価がB以上で、Aの割合が60%以上である
	② 適切に実施されており、評価できる点が多く、改善が必要と思われる重要事項もない
B	① 全ての評価がB以上で、Aの割合が60%未満である
	② おおむね適切に実施されており、評価できる点もあるが、軽微な事項を含め改善が必要な事項がある
C	① A・Bに該当せず、Dの割合が30%以下である
	② 適切に実施されている部分もあるが、改善が必要と思われる重要な事項もある
D	① 上記のいずれの評価にも該当しない
	② 改善が必要と思われる重要な事項が多く、早急な改善が必要である